













文書番号	JIM433-1
制定日	H30.4.2
改訂日	R7.4.1

令和7年度 環境目標一覧表

基本方針	共通目標項目（全所属）	単年度目標	関連するSDGs目標	長期目標
2 循環型社会、2050年までの脱炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進	電気使用量の削減	17,530,075kWh以下とする	 	—
	灯油使用量の削減	313,816ℓ以下とする	 	—
	ガソリン使用量の削減	4,555ℓ以下とする	 	—
	軽油使用量の削減	49,328ℓ以下とする	 	—
	OA用紙の使用量の削減	1,107枚以下とする		—
	ごみ排出量の削減	可燃ごみ1,526.3kg以下とする プラスチック類ごみ386.5kg以下とする	 	—
	グリーン購入推進について、特定調達物品等における調達率95%以上の品目数の割合を向上させる	年間90%以上とする		—

基本方針	所属目標	関連するSDGs目標	担当所属
1 安心安全な施設運営	廃棄物の不完全燃焼時に発生するCO排出濃度の29ppm（1時間平均値）超過回数を10回以内とする	  	施設課（クリーンパーク折居）
	廃棄物の不完全燃焼時に発生するCO排出濃度の29ppm（1時間平均値）超過回数を12回以内とする	  	クリーン21長谷山
	事業系一般廃棄物の展開検査の実施対象車両台数を年間90台以上とする		クリーン21長谷山
	排水処理施設の処理水のBODの値が15mg/ℓ（基準値60mg/ℓ）を超えないようにする	 	グリーンヒル三郷山
	奥山排水処理施設において、排水中の有機物及び無機物の量を表す指標であるCOD（化学的酸素要求量、基準値20mg/ℓ）を10mg/ℓ以下で管理する	 	グリーンヒル三郷山
	不燃ごみに混入した小型家電の基盤を150kg以上回収する	 	リサイクルセンター長谷山
2 循環型社会、2050年までの脱炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進	分別等の普及啓発のために年度内にInstagramを100回発信する		循環型社会推進課
	庁内だより及び安全と衛生をそれぞれ年3回発行し、MyWeb掲示板等ペーパーレスで全職員に配布する	  	総務課
	課内会議に使用する資料のペーパーレス化を図る	 	会計課
	Instagramを令和6年度実績（97回）以上発信する		広報協働課
	リユースコーナーにおける減量実績を令和6年度（1,524.02kg）以上とする		広報協働課
	環境イベント、工房、教室参加者及びリユース品購入者の合計を8,000人以上とする	 	広報協働課
	クリーンピア沢のLED普及率を3.0%以上にする		業務課
	沢中継施設における不燃ごみ車両の積載量を平均1,368kg/台以上にて運搬する		業務課（沢中継施設）
	施設課が主催する会議において、組織内で配布する資料を紙からデータに切り替え、会議を5回実施する	  	施設課
	2炉運転時において、焼却量1tあたりの売電量の平均値を257kWh/t以上とする	 	施設課（クリーンパーク折居）
	分析調査における汚れプラ混入割合を令和6年度実績（3.29%）以下とする	 	リサイクルセンター長谷山
	ペットボトルの資源化率（搬入量に対する資源化物搬出量の割合）を令和3年度実績（88.38%）以上とする	 	リサイクルセンター長谷山（エコ・ポート長谷山）